

	<p>理工学部環境創造学科</p>
<p>DP</p>	<p>環境創造学科は、新しい学問分野として以下の5つの柱からなる「環境創造学」を掲げ、これらの柱を基本とした教育を行います。</p> <p>(1) 環境の心 (2) 自然の論理性の把握 (3) 環境の保全と復元・改善 (4) 自然との共生 (5) 環境創造</p> <p>次の資質・能力を身につけた学生に学士(工学)の学位を授与します。</p> <p>①多様な価値観を形成するため、幅広い教養を身につけ、広い視野に立って物事の公正な判断をすることができる。</p> <p>②環境の改善と新たな環境の創出のための問題の解決にその知識・能力を活用できる。</p> <p>③技術革新や社会状況の変化に対応できるように、主体的に学び続け、学んだことを分かち合い、共に成長することができる。</p>
<p>CP</p>	<p>環境創造学科の教育目標は、以下の5つを達成することです。</p> <p>(1)多様な価値観と基礎知識 (2)技術者倫理と環境倫理 (3)専門基礎知識とその応用 (4)コミュニケーション能力 (5)高度な技術者への基礎作り</p> <p>学位授与方針に示す資質・能力を身につけさせるため、次のような教育課程を編成し、実施します。</p> <p>①教養教育は、人文・社会・自然科学、語学、情報技術、体育等からなる課程を体系的に編成し、様々な価値観に触れ、物事を正しく理解し表現できるようにする。</p> <p>②専門教育では、環境創造に係わる課程を体系的に編成し、講義・演習・実験・実習等を適切に組み合わせた授業を実施することにより、専門分野の知識・能力を確実に修得し、問題解決のために活かすことができるようにする。</p> <p>③環境創造に係わる初年次教育や演習・実験・実習科目を中心に能動的学修の要素を取り入れることにより、生涯にわたって主体的に学び、他者との相互理解や意見交換ができるようにする。</p> <p>④JABEE認定プログラム等による学修成果に対する厳格な成績評価と単位認定を行うとともに、学修行動調査やGPA、修得単位数にもとづく個別指導を行うことにより、個々の達成度と将来計画に応じた学修を進めることができるようにする。</p>
<p>AP</p>	<p>環境創造学科は、高等学校等における学習を通して、次のような資質・能力を身につけている人を受入れます。</p> <p>①大学での学修の基礎となる高等学校における各教科の基本事項を修得している。</p> <p>②環境のゼネラリストあるいはスペシャリストとして、学科での学修成果を社会で活かすという目的意識がある。</p> <p>③大学在学中だけでなく、大学院への進学や国家資格の取得等、卒業後も学び続ける意欲がある。</p>